

様式第9号

諮 問 書

〇〇〇第〇〇〇号  
令和〇年〇月〇日

公文書管理委員会 御中

独立行政法人 国立公文書館長 印

公文書等の管理に関する法律第16条の規定に基づく利用決定について、別紙のとおり、審査請求があったので、同法第21条の規定に基づき諮問します。

(別紙)

1 審査請求に係る特定歴史公文書等の名称及び請求番号	
2 審査請求に係る利用決定  (利用決定の種類)  <input type="checkbox"/> 全部利用 <input type="checkbox"/> 一部利用 (該当する利用制限事由又は複製物の利用)  <input type="checkbox"/> 利用を認めない旨の決定 (該当する利用制限事由)	(1) 利用決定の日付、記号番号  (2) 利用決定をした者  (3) 利用決定の概要
3 審査請求	(1) 審査請求日  (2) 審査請求人  (3) 審査請求の趣旨
4 諮問の理由	
5 参加人等	
6 添付書類等	①特定歴史公文書等利用請求書(写し) ②特定歴史公文書等利用決定通知書(写し) ③審査請求書(写し) ④理由説明書 ⑤利用に供した特定歴史公文書等(写し) ⑥その他参考資料
7 諮問庁担当課、担当者名 電話、住所等	

注1) 2の「(利用決定の種類)」については、該当する利用決定の口をチェックすること。  
また、一部利用決定又は利用を認めない旨の決定の場合には、公文書管理法上の該当条項を記載すること。

注2) 4の「諮問の理由」については、例えば、「原処分維持が適当と考えるため。」「全部利用に供することが適当と考えるが、第三者の反対意見書が提出されているため。」など、諮問を必要とする理由を簡潔に記述すること。

注3) 6の⑥の「その他参考資料」とは、第三者から反対意見書が提出されている場合の当該反対意見書や、行政不服審査法第11条の総代、第12条の代理人又は第13条の参加人の選任又は決定がなされている場合のそれを示す書面等である。